

# あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



穴山町企業特集

いすと木のもの *abe* 椅子店

# 『税理士が行っている租税教室について』

社会福祉法人信和会 評議員  
東京地方税理士会 甲府支部  
田中 健介



令和5年度より信和会の評議員を仰せつかっております税理士の田中健介と申します。理事長の栗原信君とは韮崎高等学校の同級生であり、大学時代も東京の文京区にある山梨共修社という県人会の寮で同じ釜の飯を食べた仲間でもあります。この度こういったご縁もあって貴会の評議員に就任したわけではございますが、就任したからには栗原君のためにも微力ながら諸々尽力させて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

現在は私は東京地方税理士会甲府支部の租税教育推進部の副部長を務めており、日々租税教育の普及に注力しているところです。そこで今回は本紙面をお借りして税理士会が行っている租税教室をご紹介します。

我々税理士は税理士法に基づいて日々の業務を行っておりますが、税理士法第1条においては、「税理士は、税務に関する専門家として、独立した公正な立場において、申告納税制度の理念にそって、納税義務者の信頼にこたえ、租税に関する法令に規定された納税義務の適正な実現を図ることを使命とする。」と規定されています。

そしてこの申告納税制度は、「税制面における積極的な国民主権の表明である」と言われています。

この国の未来のため、この申告納税制度の理念にそって、次世代を担う児童・生徒が租税についての正しい認識をもってもらえるように、我々税理士は、唯一法律で認められている「税の専門家」として、小学校から社会人まで幅広く租税教室を開催しております。

租税教室では主に、税金の種類、税金の集め方、税金の使い方、税金についての公平性などを説明していますが、中学校以上の租税教室では「税金にはどのような機能があるのでしょうか？」と生徒たちに問いかけるようにしています。

用意している答えは以下の3つです。

- ① 公共サービスの財源調達機能
- ② 景気の調整機能
- ③ 所得の再分配機能

①公共サービスとしては医療、福祉、警察、消防、教育、教育、道路整備、治山治水などを紹介しています。これらの財源を確保することが税金の最も重要な、かつ直接的な機能になります。

②例えば消費税率を上げると国民の財布の紐が固くなる、といった事象が発生します。逆に税率を下げると国民の消費意識が向上したりします。税金にはこのように景気を調整する機能があります。

③所得税、相続税などでは超過累進税率を採用し、所得が多い方には多額の税金を納めてもらう仕組みになっています。そうして集めた税金は社会保障給付等を通じて社会で再分配されます。

我々東京地方税理士会甲府支部の租税教育推進部では、3年前にこの③を強調するために中・高向けの租税教室のスライドを改訂しまして、最後に次の文章を加えることにしました。

「あなたが納めた税金は、必ずどこかの誰かを幸せにしています。そして、あなたもきっと、誰かが納めた税金のおかげで幸せな今日を迎えているのです。税金とは決してとられるものでもないし、単に納めて終わるものでもない。みんなが出し合った大切な税金は、こんなふうに使ってほしい、こういう国になってほしい、とみんなが考えを出し合うことが大切なのです。」

学校や職場におけるいじめや嫌がらせや各種ハラスメント、更にはネット上での匿名による中傷など、人々から思いやりの気持ちが欠如してしまったと感じられるニュースが多い昨今。

税金を納めるときに、この税金が世界の誰かを幸せにしている、という思いやりの気持ちを一人でも多くの人が持ってもらえるようになったら嬉しいですし、そういった理念に基づいた社会を実現していくように日々租税教育活動に励んでいこうと思いを強くしているところです。



# 本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
Tel:0551-25-6100  
E-mail: [honbu@sip-shinwakai.jp](mailto:honbu@sip-shinwakai.jp)



## 夜空に輝く大輪の花火



令和5年9月2日 信和会ふれあいフェスタを開催し恒例の花火の打ち上げを行いました。この瞬間は、利用者や職員、地域の人々にとって、一年の中でも最も楽しいイベントの一つです。この花火が持つ意味は、日常生活の中で様々な困難や課題に立ち向かう利用者にとって、心の支えとなります。季節の変わり目や日常のルーチンにおいて、楽しいイベントやコミュニティの一部としての参加が、生活の質を向上させ、人々が集まり、楽しいひとときを共有し、交流を深める機会となります。夜空に打ち上げる花火は、その美しい光と音が、観ていただいている方々に喜びや感動をもたらします。特に、利用者にとっては、この瞬間が生活に輝きをもたらし、楽しい思い出として深く刻まれます。花火を見上げる瞬間、利用者の笑顔や歓声は、職員やボランティアにとっても大きな報酬となりました。

また、花火は地域社会とのつながりを強化する手段でもあり、地域の人々が参加し、福祉施設の存在を認識し、理解する機会となります。共に楽しむことを通じて、差異を超えた共感が生まれ、コミュニティ全体が団結することができますと信じています。楽しみや感動を提供し、コミュニティとのつながりを深め、利用者に新たな希望と喜びをもたらす機会であるとともに、社会全体に福祉施設の重要性を知って頂く機会と捉え今後も継続していきたいと思っています。



## 韮崎市赤ちゃんに優しい事業所認定証 いただきました！



公益社団法人日本青年会議所が実施する「ベビーファースト運動」に関連して韮崎市市内にて「赤ちゃんに優しい事業所」の募集をしていました。NPO法人ちびっこはうす内藤理事長様からの薦めもあり、「わたしたちの活動宣言」をして9月21日認定証がとどきました。

子育てのしやすい環境づくりは、職場にとってこれから大事な取り組みになっていくと考えています。

### 【わたしたちの活動宣言】

男性職員の育児休業取得推進！

### 【活動宣言に基づく具体的行動】

- ・法人の各事業所への啓蒙と対象職員への説明と働きかけを行います。
- ・昨年からの働きかけにより ママ5名、パパ4名が育休取得しています。



# 穴山の里

障害者支援施設 穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164  
Tel.0551-25-5900  
E-mail : [sato@sip-shinwakai.jp](mailto:sato@sip-shinwakai.jp)

## 山粧う (やまよそう)

秋の紅葉によって彩られた様子を意味します。文字通り、「山が紅葉でお化粧をした」と表現するところが情緒的です。ちなみに、秋以外の季節も山を表す言葉があります。春は草木の芽吹きを「山笑う」と表現し、夏は緑の瑞々しさから「山滴る」、そして冬は静まり返って「山眠る」。それぞれの季節がイメージできる、素敵な言葉です。今年は、厳しい残暑に見舞われていましたが、穴山の里にもようやく秋の気配を感じられるようになりました。



栗原 信

## 関東地区 知的障がい関係施設 種別 代表者会議 長野大会

私が研修で参加させていただいた関東大会の第3分科では、入所施設の魅力とこれから取り入れていくべき機能についての話し合いが行われました。当事者が孤立しない支援体制の構築や、地域づくりを入所施設の新しい取り組みとして取り入れていきたいと検討しているという意見が多かったです。また、入所施設は入所のみならず、障がい者が緊急時に利用することができる点や、相談することができる機関にもなるという事から、障がい者が地域で自立した生活を送るためには欠かせない場所でもあります。そして当事者以外にも地域の方々の相談機関・障がい者との交流の場としても機能していく事が必要であると感じました。そのため、今後の施設の役割として、地域の方々もアクセスしやすい環境を整えていく事が求められているのではないかと感じました。今回の研修で学んだ実践的な部分も支援に取り入れ、よりよい支援ができるよう努力していきたいと思えます。

樋山 慧人



## サマーレクリエーション

## 地域防災訓練

穴山町の防災訓練に参加しました。防災頭巾をかぶり、避難場所である旧穴山小学校へ向かい安全に避難できたことを伝えました。その後、地域の方と会話をしたり消火器の使い方を教わったりしながら防災の知識を身につける良い機会になりました。



午前中はグラウンドで水をかけあい、水がかかると大きな声をあげ、逃げ回りました。午後は鳳凰会館にて歌やスライドショー、パネルシアターを楽しみました。くじ引きや、食事に職員お手製のカレーライスやフランクフルト、スイカやかき氷といった夏祭りの雰囲気を楽しみ満喫した様子でした。

## コロナで外出できなかった分 外出の機会を増やしています！



農業班の外出では清里と諏訪大社へ行きました。清里では、萌木の村のROCKのカレーを堪能し、諏訪大社へは電車で向かい、念願の電車に乗れて喜ぶ方もいました。



ひだまり班の外出ではイオンモールと清里へ行きました。イオンモールの中にあるふれあい広場にて小動物と触れ合ったり、清里のカフェでお茶をしたり、清泉寮のソフトクリームを満喫したり優雅な一日を過ごしました。

# わ〜く 穴山の里

多機能型事業所 わ〜く穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1  
TEL : 0551-25-5866  
E-mail : [work@sip-shinwakai.jp](mailto:work@sip-shinwakai.jp)

## 生活介護 キットパス

今回は生活介護の紹介です。14名の利用者が生活のリズムを意識し、多くの経験値を積み重ねる取り組みの中、普段は就労Bと機能訓練のための作業をしております。「はたらく」場面において生活介護メンバーの活躍はなくてはならない存在！必要とされる喜びは誰しも同じです。

月に4回の生活介護独自の活動は、外部講師をお招きしております。月に1度会う講師の方との時間を楽しみに待ち、講師と会えた時の嬉しい気持ちは利用者の笑顔、活動への積極性にも表れて、心震える時間を存分に味わっています。

その中でも「キットパス」の活動は、先日放映された24時間テレビのドラマ「虹色のチョーク」でも取り上げられた日本理化学工業の商品です。

キットパスインストラクターの川口先生の指導の下、手形アートやウィンドウアートに取り組んでいます。マスキングテープで縁どられたマスの中をキットパスで塗ることからスタートし、今ではテーマからイメージしたものを描くことが出来る利用者も増えてきました。表現力=発信力はわ〜くの大きな目標の一つでもあります。大手ショッピングモールで行われるキットパスイベントでは、帝京学園短期大学と共同で参加し、地域貢献・経験や学びの場・誰しもが同じであることを体感する意味のある機会として進んでいます。

キットパスイベントの様子



キットパスウィンドウアート



〜新しい仲間〜

色々な仕事に挑戦しています。

S・MさんとH・Yさんです。

よろしくお願いします。



# 共同生活事業所

共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1  
TEL : 0551-25-5866  
E-mail : [kyoudou@sip-shinwakai.jp](mailto:kyoudou@sip-shinwakai.jp)

秋の訪れをお知らせする涼風が心地よく感じるこの季節。季節の移り変わりには、私たちに新たな気持ちや目標を持つ機会を与えてくれます。紅葉が美しく彩り始める秋は、自然の恵みに感謝し、心を清らかに保つ大切な時期です。

## おはぎ作り



あなやまハイツの利用者の皆さんが世話人さんに教えてもらいながら、一緒におはぎ作りを行いました。一つずつ材料を手に取り、真剣な表情で作業を始める様子は印象的でした。世話人さんが優しく指導しながら、利用者の皆さんの手を助けてくれる姿もありました。その姿を見るとチームワークや協力の重要性を感じました。利用者の皆さんは、自分たちの力だけではなく、周りの支えがあって成し遂げることができることを実感したと思います。

## 十五夜



利用者の皆さんが十五夜のお祝いを行いました。お団子を囲んで楽しいひと時を過ごし、心温まる時間を過ごしました。笑顔と幸せがあふれるひとときでした。

利用者の方々は、日々様々な困難に立ち向かって生活されています。しかし、パワフルで明るい姿勢は、勇気と感動を与えてくれます。このイベントを通じて活力溢れる姿勢を実感しました。



# 穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
TEL0551-25-6100  
E-mail : [mori@sip-shinwakai.jp](mailto:mori@sip-shinwakai.jp)

## 介護分野に ICT を導入して ICT 化推進委員会 委員長 千葉 一樹

ICTとは「Information and Communication Technology」の略で、情報通信技術を活用したコミュニケーションのことを呼びます。言い換えるならば、直接対話や書面などを使って行っていたやり取りを、インターネットのような通信技術に置き換えることによって、より迅速かつスマートに業務を執り行う仕組みです。介護現場のICT化が急がれている背景として、日本の急速な高齢化が上げられます。2025年には65歳以上の高齢者ひとりを1.8人の若年層が支えることになるとも言われており、このままではすべての国民が十分な介護サービスを受けられません。そこで、ICTを活用して早急に介護現場の能率を上げ、人材不足問題を解消していくという方針が明らかになりました。

穴山の杜では今まで介護の記録は用紙に書き、排泄や入浴・バイタル・その他支援の情報を共有してきました。その為、知りたい情報のある場所に足を運び書類の分厚いファイルを広げては調べ、とても時間が掛かっていました。今回ICTを活用し、タブレット端末を使用する事でペーパーレス化となり、どの職員でもタブレット端末が1台そこにあれば情報共有とすぐに調べる事が可能になりました。また、今までは介護データ入力パソコンで行っており、利用者と死角が出来てしまい、事故が起きるケースが目立っていましたが、タブレット端末を持ち運ぶことで利用者の近くで見守りながら入力することが可能となり、事故のリスク低減に結び付いています。

ICTの活用方法はITツールの利用だけに留まりません。今まで夜勤帯は、各フロア2名の夜勤スタッフが居室30室を巡視しますが、利用者のパット交換等の業務、また10部屋を1時間に1回巡視があり大きな負担となっていました。見守りロボットを導入、各居室に設置し、利用者がベッドから起き上がったことを感知し、自動でアラートが表示されるようになった為、早期発見や介護事故防止に繋がりました。以前は巡視の際、居室のドアを開け閉めする音などで目が覚めてしまうと利用者からの声もありましたが、必要以上の訪室が減り、睡眠を維持する解決の糸口となり、スタッフの負担軽減にもなっています。また、利用者一人一人のバイタルサインを計測することにより、睡眠状況・呼吸・心拍がグラフで表示され、利用者の健康状態の把握に役立てられています。

ITツールはスタッフ全員が使い慣れるまで、ある程度の時間がかかるものです。今では得意不得意ありますが各職員がデータ入力共有も出来、見守りロボットも活用し効率よく動けており以前の夜勤と比べると負担も軽減できていると感じます。今後もICTを活用し介護現場の負担を減らし、能率を上げ人材不足の解消やより良い介護に結び付けて行けるように尽力していきたいと思っています。



## 秋分の日

秋分の日のお食事としておはぎが提供され、あんこ・きなこ・黒ごまの3種類♪「おはぎなんてなかなか食べられないよね、美味しいですよ！」と、ぺろりと召し上がっていました。真夏の様な気温が続きましたが、食事でも秋を感じる事が出来ました。

前回の夏号でご紹介いたしました朴(ホウ)の木の花の残った花床がこの様な実となりました。囀託医内山先生のお家の木を撮影させて下さいました。

## 朴の実



9月に実施されたふれあいフェスタに合わせて、施設では“穴山の杜夏祭り”がフロア毎で行われました！職員が目の前で調理した出来立ての焼きそばなどお祭りの雰囲気を感じました。また、スイーツバイキングもあり、目移りしながら召し上がり、みんなで賑やかに過ごしました。

出来立ての美味しさは格別！  
目の前で見る花火も格別！



ナマコのような形状でささくれのようなトゲトゲがあります。黄緑色～赤くなり、次第に中から真っ赤な種子が出て来ようです。赤いからでしょうか？美味しいのでしょうか？カラスなどの鳥たちがつんつん突きにも来ていたそうです。なかなか特徴的な見た目の実が高い木の枝にあつたら、興味湧きますよね。

# 穴山の杜短期

穴山の杜 短期入所生活介護事業所  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4410-3  
TEL : 0551-25-0800  
E-mail : [moritanki@sip-shinwakai.jp](mailto:moritanki@sip-shinwakai.jp)

## 再び穴山の地へ・・・

### 生活相談員 岡田梨沙

穴山の杜短期へ入社し4ヶ月が経ちました。初めましての方が多くと思いますが、タイトルの通り実は10年程前に特養の方で介護職として勤務しておりました。結婚を機に退職し、千葉へ引っ越し、3人の子供の子育てをしながら、早いもので10年があつという間に経ってしまいました。今までは特養やデイサービスの介護職、生活指導員、訪問介護のサービス提供責任者等を経験してきました。短期入所の生活相談員としては経験がなく、短期入所独自のルールが全くわからない状態ですが、一緒に働く職員の皆さんに助けられながら、日々勉強させていただいております。短期入所は在宅の括りで、自宅で過ごしている方がいろいろな理由でご利用されます。利用に際しては自宅での生活が基盤となり、家族とのコミュニケーションや自宅環境の把握、もちろん利用者の状況を知ることが大事になります。生活相談員としてその業務をしっかり行い、利用者、家族、ケアマネージャーと職員の潤滑油になれるよう、精進してまいります。

まだまだ未熟者でご迷惑をお掛けすることが多々あるかと思いますが、何事にも前向きに頑張らせていただきますので、よろしくお願い致します。



利用者の皆様が主役の一日とあって、朝から今日はどうなご馳走やお楽しみがあるのかな?と心待ちにしていました。昼食には赤飯や天ぷらなど提供され、ご馳走に歓声も上がり、皆さん堪能されていました。午後には、リーダーより長年家族や社会に尽くしてこられた感謝をお伝えし、お菓子とお茶を点でて和やかな時間となりました。これからも元気で楽しくお過ごしください!!



9月15日わーく穴山の里の皆さんが『壁飾り』のプレゼントに来所されました。色鮮やかに装飾され、「いつまでもお元気で」とメッセージが添えられてあり、部屋に飾ったり家族にも見せようと大切に持ち帰られました。また19日には、穴山の里なかよし会の皆さんから『手作り万華鏡』を頂きキラキラ光る美しい視界に癒されていました。



## お楽しみバイキング

9月2日法人主催の「ふれあいフェスタ」の一環として、夕食にバイキングを行いました。メニューは屋台でお馴染みの、焼きそば、たこ焼き、胡瓜の1本漬けなど・・・。希望者には、ノンアルコールビールなども振る舞われ、会話も弾みお腹一杯になりました。夕食後には、ベランダで花火を鑑賞され思い出の一日となりました。



お花紙を細かく丸め「十五夜飾り」制作しました。お団子は本物に勝るでき映えに利用者の皆様から“美味しさそうだね”との声も聞かれました。ススキと野菜もお供えし、中秋の名月を鑑賞しました。またホールには、折り紙で作成したトンボや色鮮やかな紅葉、秋桜が咲き誇り、一足早い秋の到来を目で楽しんでいきます

## 心肺蘇生法研修

9月27日、峡北消防本部須玉分署より3名の講師をお招きし、「救命救急法(心肺蘇生法)とAED使用法」について研修会を開催しました。この研修会は、高齢の利用者をお預かりし、生命をお守りする当事業所にとって、必要不可欠であるため、参加した職員も真剣に取り組んでいました。また、より実際的な不安や疑問について積極的に質問するなど、業務に対する責任感の表れと感じています。今後も、必要な時に躊躇なく実践できる確かな知識と技術を身に付けて参りたいと思います。



## 感謝録

(令和5年7月1日から令和5年9月30日)  
～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

吉沢 明・馬場幸福子・仲二見金男

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

永井萬喜子・生山澄江・田中康子・川口ちほ・千野公洋



### ☆新連載 ～穴山町企業特集～☆

前月号より連載を始めました、穴山町企業特集。今回はabe椅子店さんの工房にお邪魔しました。木漏れ日が差し込む森の中に工房があり、木のぬくもりを感じながらお話を伺いました。

創業は2002年。自身が描いた創作イメージと木の特性を見極めて作品作りをされています。作品は一点一点時間をかけ丁寧に仕上げより良い作品を皆様にお届けすることに心掛けていらっしゃいます。

また、お客様のご要望を伺いイメージしたものを作品として提供もされています。

作品は展示販売も行われているほか、修理や張り替えもされています。お近くをお通りの際は是非お立ち寄り下さい。



#### 【店舗】

荇崎市中央町12-6

080-5499-6595

営業時間

木・金・土

11:00-16:00

#### 【お問合せ】

電話またはメール

abe\_isuten@yahoo.co.jp

## 訪問録

(令和5年7月1日から令和5年9月30日)

☆教育実習・職場実習 (敬称略)

◎山梨学院短期大学

志村百萌花

◎帝京学園短期大学

永留小百合・金野彩音

◎わかば支援学校

安達 愛・小笹晴楓・近藤瑠綺

◎山梨県立北杜高等学校

興水優愛・中村 杏・平賀優樹・生山翔子

◎甲斐市立双葉中学校

今福愛美・大柴 凜・長田実紗・手塚琴音

### 変わる通信環境と生産性の向上について

～電話機のダイヤル発信から音声発信への

変化に対応出来る順応性に その1～

11月に山梨大学看護学会様より依頼を受け、働き方改革の一環としてICT導入についてお話しをさせて頂く機会を頂きました。私達は現在の環境に至るまで様々な経験をしてきました。移りゆく生活環境の中で、都度、変化への対応に葛藤する日々の連続でした。私達の年代だと黒電話といえばアナログでダイヤルを回して通話をする機器でその形態を思い出すことが出来ませんが、10代の方々は想像すら出来ないのが当たり前です。決して悪い事ではありません。地域の小学生の約9割が公衆電話の使い方すら知らない時代です。鳥のヒナは初めて見たものを親と思う習性があります。私達も教わったもの、知り得たものを全てだと思い込む刷り込み現象が働いてしまいます。そこで必要なのは第三の情報を受け入れ修正が必要なもの、情報として蓄積しなければならないものを整理して対応する能力と考え方と思います。当たり前スマホを操作しているあなた。その順応性を大切に物事の変化に追従してください。 企画管理部 山下

## 編集後記

暑さ寒さも彼岸までといわれますが、今年の暑さは彼岸を過ぎても県内は真夏日を記録するなど地球環境の変化には驚きを感じます。そうかと思えば急に冷え込み服装の対応に苦勞しています。コロナやインフルエンザも大きく取り上げられていませんが感染拡大しています。これからの時期体調管理にはくれぐれも注意していただきたいです。

今年の春より建設を進めておりました「日中サービス支援型グループホーム」も11月1日に竣工式・開所日を迎えることとなりました。建築関係の雇用や資材手配など問題を抱える中で多くの方のご協力により当初の予定通りに完成を迎えます。心より感謝申し上げます。施設名は「にこあす」と名づけられました。皆様の願い、私たちの思いも合わせて新しい「にこあす」の成長へと繋げていければと思います。(深沢)